

# NCNP 病院にて ブレインバンクに登録された方のご遺族へ

このたび、NCNP 臨床検査部においてブレインバンクに登録された方の検体、および診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方のご遺族お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し検体や診療情報等を利用することにより、対象となる方やそのご遺族に新たな負担や制限がかかることは一切ございませんが、対象者である患者様のご遺族等で、この研究に検体や診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないとしらされた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

## 1. 対象となる方

2009 年 4 月より 2025 年 12 月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNP ブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して、対象者である患者様のご遺族が同意された方の中から、死後の病理学的解析によりパーキンソン病と診断された方あるいは顕著な神経変性疾患なしと診断された方。

## 2. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: An international study of Superoxide dismutase 1 pathology in Parkinson disease.  
(パーキンソン病の SOD1 病理に関する国際共同研究)

研究期間: 研究実施許可受領後~2031 年 3 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者): シドニー大学(オーストラリア) Professor KAY DOUBLE

研究責任者: 国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 高尾昌樹

## 3. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: 脳組織(凍結、パラフィン切片) パーキンソン病 5 例 対照 5 例

(取得方法) 剖検時にご遺族の同意のもとに取得

情報等: 性別、年齢、診療情報(病歴、身体所見、検査、剖検時の保存情報)、病事情報、

(取得方法) 診療録から入手

## 4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

シドニー大学の Kay Double らは、パーキンソン患者の死後脳に super oxide dismutase 1 (SOD1) のタンパク質凝集体をみつけ、この蓄積が パーキンソン病の原因と考えられている  $\alpha$  シヌクレインの蓄積よりも細胞死とより密接に関連していることを明らかにしました。これは、SOD1 がパーキンソン病の新たな原因物質である可能性を示唆しています。この現象は、オーストラリアの少数例の脳を用いて観察された結果なので、一般的現象であるかどうかを明らかにするために、日本の脳を用いて検証を行います。

本研究は、シドニー大学の倫理委員会承認を受けており、オーストラリアに脳組織が送られてシドニー大学で研究が実施されます。検体を送るときは、個人を特定できる情報は削除され、dry ice に詰めて専門的な輸送会社を通

じて送られます。

## 5. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

## 6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属: 病院臨床検査部 NCNP ブレインバンク

氏名: 高尾昌樹

電話番号: 042-341-2711(代表)